

民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成29年度実績)

平成29年度 民間奨学団体奨学金 採用者数一覧

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H29年度採用者数※1	在籍奨学生数(H30.3.31現在)※2	募集人数	応募人数※3	H28年度採用者数	28年度実績との差
1	7月中旬	大学経由	種とまと財団	給与	学部 50,000 大学院 80,000	進級後の学部4年次1年間、または進学後の修士課程2年間	理学部、工学部の学部3年次または本学の理学院、生命科学院、工学院、総合化学院、情報科学研究科、環境科学院の修士課程への進学が決定している学部4年次	民間のみ不可	0	1	1	1	1	Δ 1
2	8月中旬	大学経由	帝人奨学会(博士課程)	貸与	100,000	最短期修業年限	医、薬・バイオ・理工・工・情報専攻の学生で博士課程への進学が決定している、または見込まれている者※一定の条件を満たせば返還が免除される	可	1	1	3~5	2	1	0
3	8月中旬	個人申請	Japan-IMFスカラシップ・プログラム	給与		2年	マクロ経済学の実務専門家としてIMFで働くことを目指す日本人学生で、海外の大学でマクロ経済学博士課程に在学中、もしくは同課程に出願中の者	-	-	0	-	-	-	-
4	9月中旬	個人申請	さぼろと21	給与	生活支援プログラム:12~36万/年 坪井 一郎・仁子 学生支援プログラム:学部 40~60万/年 大学院 60~100万/年	1年	インドシナ難民・条約難民、中国帰国者、日系定住者(中南米など)の子弟等であり(在留資格が留学の者を除く)、来年度において生活支援プログラム・学部生 坪井 一郎・仁子学生支援プログラム:学部3年次以上・大学院生	可	-	0	-	-	-	-
5	9月中旬	郵局経由	ピー・エム・エル医療教育基金	給与	30,000	最短期修業年限	臨床検査技師の資格を取得することを志す1年生	可	-	0	-	-	-	-
6	9月下旬	大学経由	林レオロジー記念財団	給与	学部生 30,000 大学院生 50,000	学部3年次に進級・修士1年次に進学する者 2年 学部4年次・修士2年次に進級する者 1年	「食品産業に関する」理学・工学・農水産学・生命科学等分野の学問の習得または学術研究を志す学部生及び大学院生(来春に学部3~4年次または大学院1~2年次に進級・進学予定の者)	可	5	6	各研究科・各学部6名以内	11	1	4
7	10月中旬	大学経由	ヨネックススポーツ振興財団	給与	50,000以内	1年	大学又は大学院に在学中、体育学等を専攻する学生、又はスポーツを積極的に行う学生	可	0	0	10名程度	2	0	0
8	11月中旬	大学経由	東京海上各務記念財団	給与	45,000	最短期修業年限	法、経済、工、理、農各学部の2年次生	JASSOは可、地方公共団体は応相談	2	2	学部2	2	-	2
9	11月中旬	個人申請	金澤磐夫記念財団	給与	1,000,000円(渡航費50万、1年後50万)	1年	海外の大学・大学院への留学を希望し、入学が許可された者	-	-	0	-	-	-	-
10	11月中旬	大学経由・個人申請	清川秋夫育英奨学財団	給与	年額100,000	1年	鹿児島県の高等学校を卒業し、県外の大学に在学する者のうち、第一次産業に貢献する志を持つ学生	可	-	0	70名(大学院を含む)	-	-	-
11	11月下旬	大学経由	江間忠・木材振興財団	給与	20,000	最短期修業年限	学部生又は大学院生(修士課程)で森林・木材学分野を専攻している者	貸与のみ可	0	2	1~2	1	3	Δ 3
12	12月中旬	個人申請	稲垣小太郎記念奨学財団(追加)	給与	35,000	最短期修業年限	富山県内の高校を卒業した学部2~4年次生	可	-	0	-	-	-	-
13	12月中旬	個人申請	旭化成奨学生	貸与	第1種 100,000 第2種 50,000	1年	理系の分野を専攻する者で、2017年度に6年制学士課程・修士課程・博士課程を卒業・修了する者※旭化成に入社した場合は、会社規定により返済を免除される	-	-	0	-	-	-	-
14	1月上旬	大学経由	大林財団	給与	50,000	3年	都市に関連ある分野の実業、実務又は学術研究に将来従事しようとする学部2年次生	JASSO、大学の奨学金のみ可	1	3	2	1	1	0
15	1月中旬	大学経由	エス・シー・ビー育英会	貸与	50,000	最短期修業年限	大学院博士前期課程(修士課程)1年次に在学中、化学に関わる研究内容を専攻していること	可	0	0	若干名	0	0	0
16	1月中旬	個人申請	フィクスターズ奨学生	給与	年額 600,000	1年	日本の大学、大学院課程に在籍の学生及び進学予定者	-	-	0	全国で10	-	-	-
17	1月下旬	郵局経由	岩手県対がん協会	貸与	51,000	最短期修業年限	看護師・診療放射線技師・臨床検査技師の各免許を取得するための学校に在学している人、将来、岩手県対がん協会が実施する検診や生活習慣予防検診などの医療技術者の業務に従事しようと考えている人の両方に該当する人。	-	-	0	-	-	-	-
18	2月上旬	大学経由	尚志社	給与	学部3・4年 自宅/30,000 自宅外/40,000 学部5・6年、修士 自宅/40,000 自宅外/50,000 博士 自宅/50,000 自宅外/60,000 +授業料実費 ※大学院生は入学料実費も支給	最短期修業年限	6年制学科の3年次以上、修士1年次または博士1年次	JASSOのみ可	1	5	1	8	1	0
19	2月上旬	大学経由	帝人奨学会(修士課程)	貸与	80,000	最短期修業年限	医、薬・バイオ・理工・工・情報専攻の学生で修士課程への進学が決定している、または見込まれている者※一定の条件を満たせば返還が免除される	可	0	1	3~5	1	1	Δ 1
20	2月上旬	個人申請	岩園育英財団	給与	年額 250,000	4年(2年次生は3年)	与えられた枠組みの中で機能する"人材"ではなく、自ら新しい枠組みを創造しようとする学部1年次生※条件を満たせば学部2年次生も出願可能	可	-	0	全国で10	-	-	-
21	2月上旬	個人申請	誠志ツルヤ奨学会	給与	30,000	最短期修業年限	長野県出身(長野県内の高等学校卒業かつ実家が長野県内)の新入学生のうち、食品関連分野(農、獣医、水産、薬学の学部別入試合格者)で学ぶ者	JASSOのみ可	-	0	全国で5名程度	-	-	-
22	2月上旬	大学経由	同盟育成会古野給与奨学金(大学院生)	給与	50,000	最短期修業年限	大学院(修士)1年次生(ジャーナリズム、マスコミ関係の研究に従事している、またはジャーナリストを目指している者)	-	2	3	-	3	-	2
23	2月上旬	大学経由	同盟育成会古野給与奨学金(大学生)	給与	30,000	最短期修業年限(最長2年)	平成29年4月に4年制学部の3年次に進級し、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を志望する者	可	0	0	2	0	0	0
24	2月中旬	個人申請	日本通運育英会	貸与	自宅 15,000 自宅外 20,000	最短期修業年限	学部1~2年次生	可	-	0	全国で66	-	-	-
25	2月中旬	個人申請	コープさっぽろ大学生育英奨学金	給与	年額 250,000	1年(最長4年)	日本国籍を有する。大学に就学する又はしている学生、世帯年収が1000万円を超えない、アルバイト可能、組合員若しくは組合員に加入することが可能	-	-	0	全道で500	-	-	-

民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成29年度実績)

平成29年度 民間奨学団体奨学金 採用者数一覧

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H29年度採用者数※1	在籍奨学生数(H30.3.31現在)※2	募集人数	応募人数※3	H28年度採用者数	28年度実績との差
26	2月下旬	大学経由	JT国内大学奨学金	給与	入学料・授業料相当額 月額50,000(自宅外生は100,000) ※自宅外生は+入学一時金	最短修業年限	家計支持者による学費の支弁が困難で、真に経済的援助を必要としており、学業・人物ともに優秀である学部1年次生	不可	1	2	1	1	0	1
27	2月下旬	大学経由	吉田育英会ドクター21	給与	200,000および学校納付金等 (上限2,500,000)	最短修業年限	来春(又は今秋)、自然科学系(医・歯・獣除く)の博士課程へ進学する者	貸与のみ可	0	0	2	3	0	0
28	2月下旬	大学経由	吉田育英会マスター21	給与	80,000または学校納付金 (上限2,500,000)	最短修業年限	来春(又は今秋)、自然科学系(医・歯・獣除く)の修士課程へ進学する者	貸与のみ可	1	1	2	3	2	△1
29	2月下旬	大学経由	山岡育英会	給与	大学院 60,000	最短修業年限	工・農学院の修士1年次生	-	工1農1	4	工1農1	工1農2	2	-
30	2月下旬	個人申請	常盤奨学会	貸与	30,000 理系 35,000	最短修業年限	福島県いわき市、茨城県北茨城市及びその周辺地域出身の学部生	-	-	0	全国で12	-	-	-
31	2月下旬	大学経由	旭硝子奨学会	給与	修士 40,000 博士 100,000	最短修業年限	・化学、機械または電気専攻の修士(博士前期)課程1年 ・化学、機械または電気専攻の博士(博士後期)課程1年	修士…可、博士…JASSOのみ可	2	4	修1、博1	6	2	0
32	3月上旬	大学経由	花王芸術・科学財団	給与	50,000	最短修業年限	科学技術分野(化学・物理学分野)の大学院(修士課程)1年次に進学が決定している日本人学生。	貸与のみ可	1	1	1	2	-	1
33	3月上旬	個人申請	戸部眞紀財団(公募)	給与	50,000	1年	学部3年次以上および大学院で化学・食品科学、芸術学、体育学/スポーツ科学、経営学を専攻する者(留学生可)	可、ただし給与と併給の場合は半額となる	0	1	全国で40	-	1	△1
34	3月上旬	大学経由	戸部眞紀財団	給与	50,000	1年	学部3年次以上および大学院で化学・食品科学、芸術学、体育学/スポーツ科学、経営学を専攻する日本国籍、又は同等の権利を有する30歳以下の者	可、ただし給与と併給の場合は半額となる	2	3	2	5	2	0
35	3月上旬	個人申請	似鳥国際奨学財団	給与	【自宅生】50,000 【自宅外生】80,000	1年	「日本国籍」を有し、2017年4月1日より学部課程1年次以上に正規生として在籍し、学業、人物ともに優秀で健康であり、国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者	貸与のみ可	-	0	全国で最大100	-	1	△1
36	3月上旬	大学経由	森下育英会	給与	35,000	最短修業年限	学部1年次生(大阪府出身者)	-	1	3	3~5名程度	2	1	0
37	3月上旬	大学経由・個人申請	鹿野学術振興財団	給与	年額 600,000	1年	科学技術関係の分野を専攻する学部1年~3年(6年制の場合は1年~5年)または修士1年で、卒業後は製造業への就職を希望する者	JASSOのみ可	0	0	若干名	6	0	0
38	3月下旬	大学経由	MHIみらい奨学金	給与	120,000	2年	修士課程1年次に在籍する女子学生(私費外国人留学生を含む)で、化学、電気・電子、機械、土木・建築、原子力等の理工系分野を専攻する者	貸与のみ可	0	0	1	2	0	0
39	3月下旬	大学経由	佐藤奨学会	給与	学部 25,000 大学院 30,500	最短修業年限	学部生、大学院生	可	0	0	1	6	0	0
40	3月下旬	大学経由	竹中育英会	給与	80,000	最短修業年限	学部2年次生及び大学院生(22歳以下) ※大学院生については、学部からの継続者	貸与のみ可	2	10	2	3	5	△3
41	3月下旬	大学経由	フジシールパッケージング教育振興財団	給与	学部 50,000 大学院 60,000	最短修業年限	・理工学系(応用化学等)の学部3年次生 ・理工学系(応用化学等)の修士1年次生	JASSOのみ可	0	1	学部1 修士1	2	1	△1
42	3月下旬	大学経由	森下仁丹奨学会	給与	30,000	最短修業年限	学部生、大学院生	貸与のみ可	0	0	1	1	0	0
43	4月上旬	大学経由	山口正栄記念奨学財団	給与	学部 20,000 大学院 25,000	最短修業年限	理工学系の学部3年・大学院修士1年次生(北海道内の住民)	可	13	19	全道で学部8、修士8	22	5	8
44	4月上旬	個人申請	池田育英会トラスト	給与	17,000	最短修業年限	愛媛県内の高校卒、または愛媛県居住者の子弟である学部学生(2年次以上)及び大学院生	可	-	0	全国で4名	-	-	-
45	4月上旬	大学経由	日本証券奨学財団	給与	学部生(自宅) 35,000 (自宅外) 45,000 修士(自宅) 40,000 (自宅外) 50,000 博士(自宅) 45,000 (自宅外) 55,000	最短修業年限	・学部2年次生 ・大学院生(修士課程又は博士課程の1年次生)	JASSO等は可	3	8	3	15	3	0
46	4月上旬	大学経由	住友電工グループ社会貢献基金	給与	30,000	最短修業年限	理工系専攻で修士課程1年次に在籍する学生	貸与のみ可	1	2	1	2	1	0
47	4月上旬	大学経由	樫山奨学財団	給与	40,000	4年	学部1年次生(6年制学部・学科決定者を除く)	貸与のみ可	1	4	1	3	1	0
48	4月上旬	大学経由	上田記念財団	給与	30,000	2年	土木・建築系の学部3年または修士1年	可	1	2	1	1	1	0
49	4月上旬	大学経由	工藤育英会	給与	20,000	最短修業年限	北海道出身の学部生	可	1	1	2名程度	5	0	1
50	4月中旬	大学経由	阪和育英会	貸与	50,000	最短修業年限	学部生	可	0	1	1	0	1	△1
51	4月中旬	大学経由	日本国際教育支援協会	給与	50,000	2年	平成28年に実施した日本語教育能力検定試験に合格した日本語指導者を目指す者。	可	0	0	全国で30	0	-	-

民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成29年度実績)

平成29年度 民間奨学団体奨学金 採用者数一覧

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H29年度採用者数※1	在籍奨学生数(H30.3.31現在)※2	募集人数	応募人数※3	H28年度採用者数	28年度実績との差
52	4月中旬	大学経由	栗林育英学術財団	給与	学部 25,000 大学院 30,000	最短修業年限	・学部1年次生 ・大学院(修士)1年次生	貸与のみ可	1	11	学部3 修士3	4	5	△4
53	4月中旬	大学経由	中部奨学会	給・貸	学部(給与・貸与)35,000 修士(給与・貸与)60,000 博士(給与)60,000	最短修業年限	学部生、大学院修士課程の学生及び大学院博士課程の学生	可	2	3	学部10 修士6 博士6	33	1	1
54	4月中旬	大学経由	山田育英会	給与	20,000	最短修業年限	学部1年次生(外国人留学生含む)	可	4	17	4	4	4	0
55	4月中旬	大学経由	MHPSみらい奨学金	給与	120,000	2年	修士課程1年次に在籍する女子学生(私費外国人留学生を含む)で、機械、電気・電子、化学等の理工系分野を専攻し、将来火力発電システム・環境分野におけるエンジニアとしてグローバルに活躍する意欲のある者	貸与のみ可	1	1	2	1	0	1
56	4月中旬	大学経由	清水育英会	給与	50,000	最短修業年限	建築、土木又は都市計画等を専攻する学部2～4年次生、修士課程1～2年次生	可	4	6	-	5	4	0
57	4月下旬	大学経由	あしなが育英会	貸与	一般 40,000 特別 50,000	最短修業年限	保護者が病気・災害・自死などで死亡、またはそれらが原因で著しい後遺障害を負い学費の支弁が困難である学生(25歳未満の学部生)	可	0	1	全国で160	0	1	△1
58	4月下旬	大学経由	三菱UFJ信託奨学財団	給与	学部 35,000	最短修業年限	法、経済、工、理、農各学部の2年次生 法、経済、工、理、農、情報、環境、総合化学、法科、公共政策の各大学院生	可	3	9	学部1 大学院2	9	2	1
59	4月下旬	個人申請	トヨタ女性技術者育成基金	給与	指定する金融機関から借入した奨学融資金の借入期間中の利息	最短修業年限	工学系を専攻し、4月現在学部1年次、または今年度4月に高等専門学校から編入し、学部3年次に在学する女子学生	可	-	0	全国で118	-	-	-
60	4月下旬	大学経由	日揮・実吉奨学会	給与	年額 300,000	1年	理工学系(農・水産・獣医を含み医・歯・薬学系を除く)の学部生及び大学院生	可	10	10	10	20	13	△3
61	4月下旬	大学経由	日鉄鉱業奨学会(給与)	給与	25,000	2年	鉱物資源の開発、地学、物理探査、機械、電気、土木及び化学を専攻する学部3年次生並びに大学院修士課程1年次生	貸与のみ可	4	6	4	4	2	2
62	4月下旬	大学経由	日鉄鉱業奨学会(貸与)	貸与	30,000または15,000 ※新入生で希望する者は入学準備金60,000	最短修業年限	学部生	-	0	1	2	0	1	△1
63	4月下旬	大学経由	春秋育英会	給・貸	30,000 (給与 20,000、貸与10,000)	最短修業年限	学部生(卒業時の年齢が26歳を超えないもの)	可	1	4	1	5	1	0
64	4月下旬	大学経由	味の素奨学会	貸与	学部生 (自宅)30,000 (自宅外)35,000 大学院生 (自宅)40,000 (自宅外)45,000	最短修業年限	大学の専門課程(3年次生以上)及び大学院で化学をはじめとする理系全般の学科を専攻する学生	可	0	0	全国で15	0	0	0
65	5月上旬	大学経由	中村積善会給費併用型貸費奨学生	給・貸	80,000 (貸費50,000・給費30,000)	最短修業年限	学部生、大学院生	給与のみ可	0	2	2	0	2	△2
66	5月上旬	大学経由	中村積善会給費奨学生	給与	30,000	最短修業年限	学部生、大学院生	可	2	5	2	15	2	0
67	5月中旬	大学経由	川村育英会	給与	学部生 30,000 大学院生 60,000	2017年8月～ 最短修業年限	化学系および、機械工学、電気電子工学、制御工学専攻の大学院修士課程1年次生及び学部2年次生(6年制学部在籍の者を除く)	可	1	2	1	5	0	1
68	5月中旬	大学経由	丸和育志会	給与	年額50万円	1年	学部3・4年次生または大学院修士課程1・2年次生の日本人学生	可	2	3	3名	11	-	2
69	5月中旬	個人申請	在日朝鮮人奨学生	給与	学部1年 10,000 学部2年以上 15,000	1年	学部に在籍する在日朝鮮人学生	貸与のみ可	-	0	-	-	-	-
70	5月中旬	大学経由	東和食品研究振興会	給与	30,000	1年	学部1年次以上及び大学院生で食品科学に関する分野を専攻、研究している者	可	3	3	5	3	1	2
71	5月中旬	大学経由	清川秋夫育英奨学財団	給与	年額100,000	1年	鹿児島県の高等学校を卒業し、県外の大学に在学する者のうち、第一次産業に貢献する志を持つ学生	可	-	0	70名(大学院を含む)	-	-	-
72	5月下旬	個人申請	日本教育文化財団	給与	20,000	最短修業年限	日本国籍を有し、平成29年4月1日現在で25才以下の学部新1年生	可	-	0	全国で10	-	-	-
73	5月下旬	大学経由	長谷川財団	給与	30,000	最短修業年限	日本国内の大学及び大学院において就学する者。	可	0	0	2	15	-	-
74	6月上旬	個人申請	交通遺児育英会	貸与	学部 40,000、50,000、60,000 大学院 50,000、80,000、100,000	最短修業年限	保護者等が交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生	可	-	2	学部300 院20	-	1	△1
75	6月下旬	大学経由	大学女性協会	給与	(年額) 一般 200,000 福祉・学部 100,000 福祉・大学院 200,000 医学 300,000	1年	一般:大学院生 福祉:身体に障害のある学部・大学院生 医学:医・歯・薬学専攻の大学院生 いずれも1年以上大学に在籍している女子学生	可	0	0	1部門1名	5	0	0
76	7月中旬	個人申請	東京弁護士会育英財団	貸与	【自宅生】法科大学院生 50,000 大学生・大学院生 35,000 70,000 【自宅外生】法科大学院生 50,000 大学生・大学院生	最短修業年限	学術優秀かつ品行方正でありながら経済的事由により修学が困難な学生	-	-	0	若干名	-	-	-

民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成29年度実績)

平成29年度 民間奨学団体奨学金 採用者数一覧

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H29年度採用者数※1	在籍奨学生数(H30.3.31現在)※2	募集人数	応募人数※3	H28年度採用者数	28年度実績との差
77		大学経由	井上育英会	貸与	自宅 28,000 自宅外 30,000	最短修業年限	学部2年次生	—	4	16	4名程度	13	4	0
78		大学経由	北海道大学クラーク記念財団	貸与	50,000	最短修業年限	学部生	—	—	1	募集終了	—	—	—
79		個人申請	JT国内大学奨学金(高校予約)	給与	入学金・授業料相当額 月額50,000(自宅外生は100,000) ※自宅外生は+入学一時金	最短修業年限	家計支持者による学費の支弁が困難で、真に経済的援助を必要としており、学業・人物ともに優秀である学部1年次生(高校手続き)	不可	1	3	—	—	—	1
80		大学経由	鴻池奨学財団	給与	24,000	最短修業年限	大学院生	—	0	1	—	0	—	—
81		大学経由	フジクラ育英会	貸与	学部 30,000 大学院 40,000	最短修業年限	学部生、大学院生(学部生優先)	—	0	2	1	0	1	△1
82		大学経由	ミュゼ財団	給与	30,000	最短修業年限	4年制学部在籍する2年次生(女子学生)	貸与のみ可	0	1	—	0	—	—
83		大学経由	山田育英会(追加)	給与	15,000	最短修業年限	学部1年次生(外国人留学生含む)	可	0	2	—	0	—	—
84		個人申請	帝京育英財団	給与	22,000	最短修業年限	※高校予約 愛媛県出身の学生生徒で、学術優秀、品行方正、身体強健でありながら、経済的理由により修学が困難な者	—	—	1	—	—	—	—
85		個人申請	伊藤謝恩育英財団	給与	60,000	4年	日本の高等学校の3年に在学し、2015年に指定大学へ入学することを旨とする19歳未満の者(留学期間は満20歳未満) ※6年制学部学科はのぞく	—	3	12	—	—	1	2
86		個人申請	木下記念事業団	給与	年額 600,000	最短修業年限	※高校予約 兵庫県内の指定学校在学者	—	1	1	—	—	—	1
87		個人申請	コカ・コーラ教育・環境財団	給与	15,000	最短修業年限	※高校予約 翌年度に大学進学予定の者	—	—	1	—	—	—	—
88		個人申請	電通育英会(大学)	給与	50,000	最短修業年限	※高校予約 指定高校在籍で、指定大学の文系学部に進学する者	—	1	6	—	—	3	△2
89		個人申請	ニビキ育英会	給与	20,000	最短修業年限	福岡県に居住する者の子弟	—	—	1	—	—	—	—
90		郵局経由	ウシオ財団	給与	120,000	最短修業年限	大学院に在籍する者(理学)	—	2	4	—	—	—	2
91		郵局経由	河内奨学財団	給与	40,000	最短修業年限	学部1年次生	—	1	4	—	3	—	1
92		郵局経由	末延財団	給与	年額450,000	2年	英米法の専任教員を置く法学部3年次在学者	—	2	4	2	4	2	0
93		郵局経由	東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団	給与	30,000	修士2年終了まで(最長4年)	学部3年～大学院修士課程2年に在籍する者(工学)	—	1	3	1	1	—	1
94		郵局経由	中重奨学財団	給与	30,000	2年または最短修業年限	学部3年次生または大学院1年次生(農学)	—	2	2	2	4	—	2
95		郵局経由	東ソー奨学会	貸与	50,000	最短修業年限	学部3・4年生、大学院生	—	—	1	—	—	1	△1
96		郵局経由	佐藤陽国際奨学財団	給与	月額80,000 (シンガポールなら月額120,000円) 他、渡航費250,000円、一時金100,000円、保険料等実費上限150,000		バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナムへ留学を希望する日本国籍を有する学生	—	—	0	—	—	—	—
97		郵局経由	NSKナカニシ財団	給与	30,000	3年	日本国籍を有し、日本に所在する歯学部歯学科(歯科医師養成課程)に在籍している、平成29年4月に4年生に進級する学生。	可	—	0	10名程度	—	—	—
98		郵局経由	トランスコスモス株式会社	給与	50,000	最短修業年限	情報通信技術等の科学技術分野に注力している大学及び大学院の学生	可	1	1	1	3	—	1
99		大学経由	戸田育英財団	給与	30,000	最短修業年限	学部1、2年次生(医学部・薬学部・歯学部・獣医学部を除く)	JASSOのみ可	1	4	1	1	1	0
100		郵局経由	フジタ奨学金	給与	年額500,000	2年間	2017年4月に学部3年生に進級予定、または、大学院修士課程に進学予定の者で、日本国籍を有し、成績優秀者(上位3分の1)かつ、就学上経済的に困難な者(世帯年取合計600万円未満)	0	1	1	2	2	—	1
101		個人申請	酒井CHS振興財団	給与	30,000	1年	労災遺児等である学生	—	—	1	第1回30名 第2回23名	—	—	—
102		個人申請	大森昌三記念財団	給与	30,000	最短修業年限	日本国内の大学に在学し、出願する年の4月現在、大学第2学年以上、大学院修士課程または博士課程に在学する者。(大学生は満23歳以下、大学院生は満33歳以下であること)	可	0	0	—	1	—	—
103		個人申請	北田奨学会記念財団	給与	30,000	最短修業年限	福岡県内に在住して、同県内の高校を卒業した大学新1年生。	可	0	0	—	1	—	—

民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成29年度実績)

平成29年度 民間奨学団体奨学金 採用者数一覧

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H29年度採用者数※1	在籍奨学生数(H30.3.31現在)※2	募集人数	応募人数※3	H28年度採用者数	28年度実績との差
104		個人申請	明光教育研究所	給与	最大70万円	1年	次の4つの条件のうち、いずれか1つ以上を満たすこと。 ・ひとり親家庭の子どもである。 ・里親に養育されている。又は、以前里親に養育されており、現在は養育措置が解除され、保護者のいない状態で生活している。 ・施設に在籍している。又は以前施設に在籍しており、現在は施設を出て、保護者のいない状態で生活している。 ・保護者が、病気、怪我、介護等の事情により、就労困難な状況にある。	民間・大学のもの不可	0	0	-	1	-	-
105		個人申請	山口育英奨学金	貸与	50,000	最短修業年限	大学または大学院に在学している者のうち、人物、成績、健康ともに優れ、学資の支弁が困難な者。	給与のみ可	0	0	-	1	-	-
106		個人申請	上山遺児育英会	給与	【医学部生】年額600,000円以内 【医学部生以外】年額500,000円以内 【海外留学生】年額800,000円以内	最短修業年限	交通遺児・災害遺児で和歌山県に住所を有し、大学及び大学院に在学し、学業人物とも優秀でかつ健康であつて、学資の支弁が困難と認められる者	-	-	1	-	-	-	-
合 計 (給与:85団体、貸与:21団体) ※「給・貸」は貸与に含める									103	251	-	299	91	12

平成29年度 東日本大震災関係奨学金 採用者数一覧

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H29年度採用者数※1	在籍奨学生数(H30.3.31現在)※2	募集人数	応募人数※3	H28年度採用者数	28年度実績との差
1		大学経由	双日復興支援教育基金	給与	70,000	最短修業年限	東日本大震災により被災し、家計支持者が被害を受け、経済的に修学継続が困難な者	貸与のみ可	0	5	-	0	-	-
合 計 (給与:1団体、貸与:0団体) ※「給・貸」は貸与に含める									0	5	-	-	-	-

※東日本大震災関係の奨学金については本学学生支援センターにおいて登録した学生から総長名で推薦したもの

民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成29年度実績)

平成29年度 地方公共団体奨学金 採用者数一覧

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H29年度採用者数※1	在籍奨学生数(H30.3.31現在)※2	募集人数	応募人数※3	H28年度採用者数	28年度実績との差
1	1月中旬	個人申請	富山県奨学金返還助成制度	給与			JASSO第1種奨学金または富山県奨学金の貸与を受けており、修士課程1年次で工学、理学、農学、薬学を専攻する者、もしくは薬学共用試験に合格した薬学部5年次生	-	-	0	全国で30名程度	-	-	-
2	3月中旬	大学経由	札幌市奨学生(継続)	給与	6,000	1年	札幌市民である(志願者の親又はこれに代わる者が本市内に住所を有する場合を含む)学部生及び大学院生	-	32	32	-	32	31	1
	3月中旬	大学経由	札幌市奨学生(新規)					-	19	19	全国で30名程度	35	17	2
3	3月中旬	個人申請	沖縄県国際交流・人材育成財団	貸与	学部 45,000 修士 70,000 博士 80,000	最短修業年限	沖縄県内に住所を有する者の子弟	給付のみ可	0	2	全国で80名程度	0	-	-
4	3月中旬	個人申請	福井県ものづくり人材育成修学資金	貸与	60,000	最短修業年限	H29年4月時点で理工系大学院に在学し(見込み含む)、修了後福井県内ものづくり企業に勤務することを希望する者 ※上記企業に7年間勤務し、研究開発業務に従事した場合、返済を全額免除	可	-	0	全国で15	-	-	-
5	4月中旬	大学経由	山口県ひとづくり財団	貸与	43,000	最短修業年限	保護者が山口県内に住所を有する学部生	不可	1	1	制限なし	1	0	1
6	4月中旬	大学経由	石川県奨学生	貸与	44,000	最短修業年限	石川県に3年以上居住している者の子弟、学部学生のみ	JASSOは不可	1	1	制限なし	2	0	1
7	4月中旬	大学経由	石川県奨学生(緊急)	貸与	44,000	最短修業年限	保護者が石川県に3年以上居住している学部生で家計が急変した者	JASSOは不可	0	0	制限なし	0	0	0
8	5月中旬	大学経由	宮崎県奨学会	貸与	25,000	最短修業年限	宮崎県に本籍を有する者、又は保護者が宮崎県に居住している新入学生	給与のみ可	0	0	全国で5名程度	0	0	0
9	5月中旬	大学経由	富山県奨学生	貸与	自宅 45,000 自宅外 51,000	最短修業年限	富山県に住所を有する者の子弟 (新入生は出身高等学校へ出願すること)	給付のみ可	0	1	制限なし	0	0	0
10	5月中旬	大学経由	岐阜県選奨生	貸与	32,000 (日本学生支援機構と併用時は半額)	最短修業年限	岐阜県に居住する者の子弟である学部学生	可	0	0	制限なし	0	0	0
11	5月中旬	個人申請	松江市奨学生	給・貸	高井奨学金 自宅通学 17,000 自宅外通学 19,000	最短修業年限	父母またはこれに代わる人が松江市に居住する者	可	-	0	-	-	-	-
12	5月中旬	個人申請	清流の国ぎふ・大学生等奨学金	貸与	30,000	最短修業年限	岐阜県内の高等学校等を卒業し、大学に在学する者であり、卒業後に岐阜県内で就業する意志のある者 ※返還債務免除条件あり	可	0	0	全国で100	0	0	0
13	5月下旬	大学経由	福井県大学院奨学生	貸与	修士 84,000 博士 117,000	最短修業年限	福井県内に在住する者の子弟で、大学院生	不可	0	0	全国で若干名	0	0	0
14	6月上旬	個人申請	山口県高度産業人材確保事業奨学金返還補助制度	給与			JASSOの無利子奨学金の貸与を受けている理系大学院生または薬学部生で、修了または卒業後山口県内の製造業に就業することを希望する者	-	-	0	-	-	-	-
15	6月上旬	個人申請	新潟市奨学生	貸与	年額 400,000	最短修業年限	保護者が新潟市内に住所を有する学部生、大学院生	可	0	0	学部80(全国) 院10(全)	0	0	0
16	6月上旬	大学経由	新潟県奨学生	貸与	41,000	最短修業年限	新潟県に居住する者の子弟である学部生	JASSO第一種以外可	0	0	全国で72	0	0	0
17	8月上旬	個人申請	徳島県奨学金返還支援制度	給与	JASSO無利子奨学金の借受総額×1/2(上限額100万円) JASSO有利子奨学金の借受総額×1/3(上限額70万円)		大学または大学院でJASSO等の奨学金の貸与を受けており、卒業または修了後に徳島県内事業所に正規職員として就業を希望する者	-	-	0	-	-	-	-
18	8月中旬	個人申請	鹿児島県大学等奨学金返還支援制度	給与	原則として、大学(学部)に在学中に借り付けた奨学金の全額		鹿児島県出身者で、大学または大学院を平成29年3月に卒業(修了)予定の者在学中にJASSO等の奨学金の貸与を受けており、卒業(修了)後に鹿児島県内企業等に就業し、かつ県内居住を希望する者	-	-	0	-	-	-	-
19	8月下旬	大学経由	福島県奨学生(追加)	貸与	35,000	最短修業年限	福島県内の高校を卒業した者で県内に6ヶ月以上居住していた者	給与のみ可	0	0	-	0	-	-
20	8月下旬	個人申請	いわき市未来につなぐ人材応援奨学金返還支援事業	給与	(64,000円×しよくあきん貸与月数)の1/2の額		①大学、大学院に在学中で、平成30年3月に卒業予定であり、修業年限以内で卒業又は修了することを予定している者。 ②JASSO奨学金、いわき市奨学金、福島県奨学金のいずれかの貸与を受けている者。	-	-	0	50名程度	-	-	-
21	8月下旬	個人申請	沖縄県国際交流・人材育成財団(追加)	貸与	学部 45,000 修士 70,000 博士 80,000	最短修業年限	沖縄県内に住所を有する者の子弟	給付のみ可	0	1	若干名	0	-	-
22	9月上旬	大学経由	福島県奨学生	貸与	35,000	最短修業年限	福島県内の高校を卒業した者で県内に6ヶ月以上居住していた者	給与のみ可	0	1	全国で123	0	0	0
23	10月上旬	大学経由	岐阜県選奨生(二次)	貸与	32,000 (日本学生支援機構と併用時は半額)	最短修業年限	岐阜県に居住する者の子弟である学部学生	可	0	0	制限なし	0	0	0
24	11月中旬	個人申請	三重県奨学金返還支援事業	給与	在学中に借り付けた奨学金の金額の1/4(上限100万円)		JASSO等の奨学金の貸与を受けている大学、大学院の最終学年の1年前の学年以上の在学学生、かつ就職が決まっていないうで、県内の地域へ定住を希望する者。	-	-	0	-	-	-	-
25		大学経由	茨城県奨学生	貸与	40,000	最短修業年限	茨城県に居住する者の子弟である学部生	JASSOは不可	0	2	全国で100名程度	0	0	0
26		個人申請	岐阜県選奨生(高校予約)	貸与	32,000 (日本学生支援機構と併用時は半額)	最短修業年限	-	可	0	2	-	0	2	△2

民間奨学団体・地方自治体奨学金採用者数(平成29年度実績)

平成29年度 地方公共団体奨学金 採用者数一覧

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	H29年度採用者数※1	在籍奨学生数(H30.3.31現在)※2	募集人数	応募人数※3	H28年度採用者数	28年度実績との差
27		個人申請	沼津市奨学生	給与	年額 120,000	最短修業年限	沼津市に居住する者の子弟である学部生	—	—	1	—	—	—	—
28		個人申請	青森県教育厚生会	貸与	第一種 800,000 第二種 500,000	最短修業年限	保護者が青森県内に5年以上居住している者	可	—	2	—	—	—	—
29		個人申請	青森市奨学生	貸与	33,000	最短修業年限	青森市に居住する者の子弟である学部生	—	—	1	—	—	—	—
30		個人申請	岩国市奨学生	貸与	25,000	最短修業年限	岩国市に住所を有する者の子弟である学部生	可	—	1	—	—	—	—
31		個人申請	島根県育英会	貸与	30,000, 40,000, 50,000, 60,000, 70,000から選択	最短修業年限	島根県出身者の学部生、大学院生	—	—	1	—	—	—	—
32		個人申請	浜松市奨学生	貸与	45,000	最短修業年限	浜松市に住所を有する者の子弟である学部・大学院生	—	—	3	—	—	—	—
33		個人申請	常陸大宮市奨学生	貸与	50,000	最短修業年限	常陸大宮市に住所を有する者の子弟である学部生	—	—	1	—	—	—	—
34		個人申請	四日市市奨学会	貸与	23,000	最短修業年限	四日市市に住所を有する者の子弟である学部生	—	—	1	—	—	—	—
35		郵局経由	北海道看護職員養成修学資金	貸与	32,000	1年	将来道内において看護業務に従事しようとする学生(学部・修士) ※一定の条件を満たせば返還免除	—	—	0	—	—	—	—
36		大学経由	岩手県看護職員修学資金	貸与	51,000以内	最短修業年限	卒業後直ちに岩手県内の特定施設に看護職員として就職することを希望する学生	—	—	1	全国で100名程度	—	—	—
37		個人申請	三木市教育委員会	給与	9,000	1年	三木市に住所を有する者の子弟である学部生	—	—	1	—	—	—	—
38		個人申請	千歳市奨学金	給与	10,000	1年	千歳市民(志願者の親又はこれに代わる者が本市内に住所を有する場合を含む)であり、学資に乏しい学部生または、進学を希望するもの。	—	—	1	—	—	—	—
合計					(給与:10団体、貸与:28団体)		※「給・貸」は貸与に含める		53	76	—	70	50	3

※1: H29年度採用者数は在籍奨学生数に含まれる(内数)

※2: 在籍奨学生数は高校等での予約採用者を含む。また、年度途中辞退者は除く。

※3: 北大からの応募人数